

(事例37) 34歳男性、事務・運転、ナルコレプシーのため運転業務禁止

| 類型 | 症候 | 疾患 |
|-----|---------|------------|
| 1、2 | 2. 睡眠発作 | 2. ナルコレプシー |

| きっかけ | <input type="checkbox"/> 健康診断の有所見 | <input checked="" type="checkbox"/> その他の機会 |
|--|-----------------------------------|--|
| 1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 34歳、男性、ナルコレプシー 2) 業種、作業内容 事務作業、時に運転 | | |
| 2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など ナルコレプシー | | |
| 3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 運転業務の禁止 | | |
| 4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 入社以降、3回の事故、会議中の居眠り多発。検査の結果、脳波にてナルコレプシーの診断を得る。その後内服にて安定しているものの、継続的な加療を要している | | |
| 5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可) ① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため ② 企業リスクが予見されたため(交通事故、公衆災害の発生など) | | |
| 6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい | | |